

日本語

PL12,13 取扱説明書

安全に使用していただくために使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもすぐ読めるように、この取扱説明書を保管してください。



注意

本取扱説明書は、PL12/PL13 についての説明書です。本製品を機械（ミシン）に取り付けて使用される際は、事前に取り付ける機械の取扱説明書の「安全についての注意事項」を読み、十分理解の上でご使用ください。
なお、PL12/PL13 を強調するため、機械（ミシン）のイラストは簡略化されています。

目 次

1. 仕様	1
2. 後ローラー組の組付け	1
3. ローラー押え圧力の調整	1
4. 手動レバーの使い方	2
5. ローラーの送り量の調整	2
6. ローラーの送りタイミング	3
7. ギヤローラーのすき間の調整 (PL12).....	3
8. ローラー押え上げの調整	4
9. クラッチテンションばねの調整.....	4
10. 給油方法	5

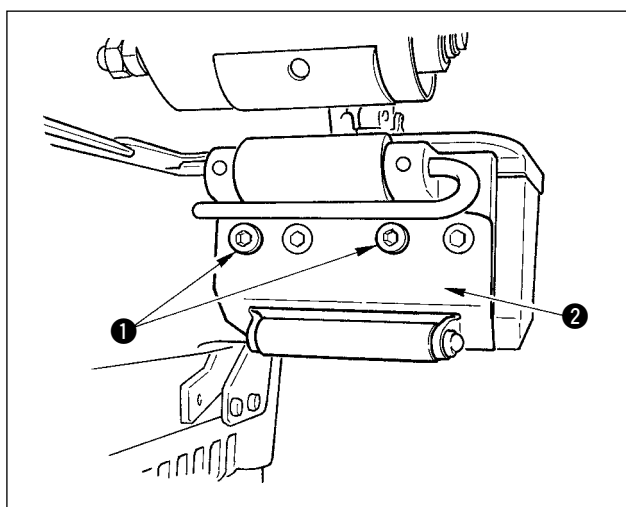
1. 仕様

型式	PL 12 (ギヤローラー) , PL 13 (フラットローラー)		
機種名称	先引きローラー装置		
最高縫い速度	最高縫速度 5,000 sti/min (間欠運転時) 出荷縫速度 4,000 sti/min (間欠運転時)		
ローラー上昇量	手動レバー	PL12 : 8.6mm , PL13 : 10.3mm	
	押え上げ	押え上昇 4mm 時	PL12 : 6.3mm , PL13 : 8.0mm
		押え上昇 5mm 時	PL12 : 7.0mm , PL13 : 8.7mm
		押え上昇 6mm 時	PL12 : 7.8mm , PL13 : 9.5mm
押え圧	50N ~ 150 N		
送り量	1.6mm ~ 5.0mm		
騒音	JIS B 9064 に準拠した測定方法による「騒音レベル」 縫い速度 4,000sti/min : 騒音レベル ≤ 84dBA (※ 1 定常運転時) 縫い速度 4,400sti/min : 騒音レベル ≤ 84dBA (※ 2 付属装置作動時)		

※ 1 定常運転時 とは、直線縫い状態で装置等を作動させない状態で、一定速度で 300mm 運転した際の騒音です。

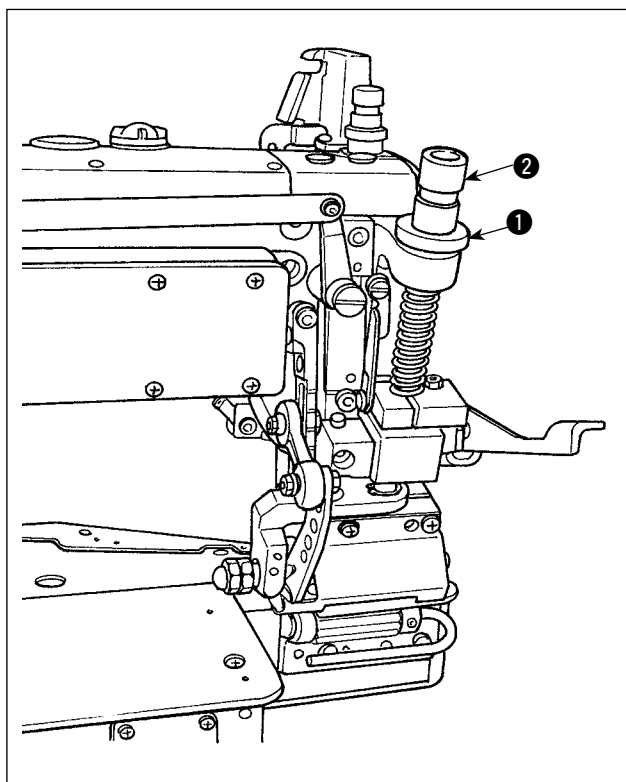
※ 2 付属装置作動時とは、標準的な縫いパターンを自動押え上げ、糸切りの装置を作動させて、300mm 運転した際の騒音です。

2. 後ローラー組の組付け



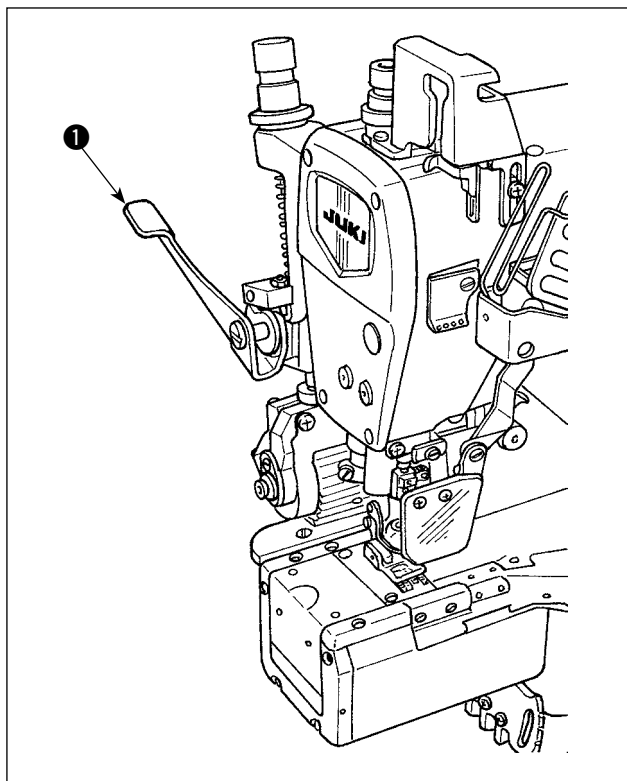
付属品に入っている後ローラー組 ② を、ねじ ① (2 個) にて取り付けてください。

3. ローラー押え圧力の調整



ナット ① をゆるめ、押え圧力を強くする時は、調節ねじ ② を右 (時計方向) に回してください。押え圧力を弱くする時は、調節ねじ ② を左 (反時計方向) に回してください。

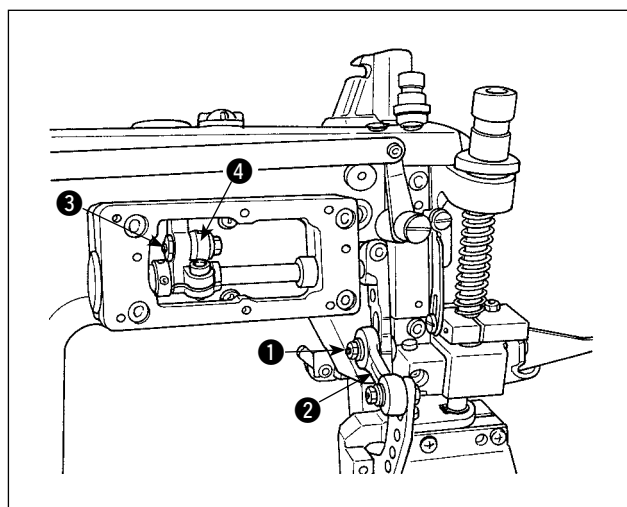
4. 手動レバーの使い方



生地の設定をするときや、縫い終わった生地を外すとき、先引きローラー装置を使用しないときには、レバー①を上げてください。

先引きローラー装置を使用して縫製するときには、レバー①を下げてください。

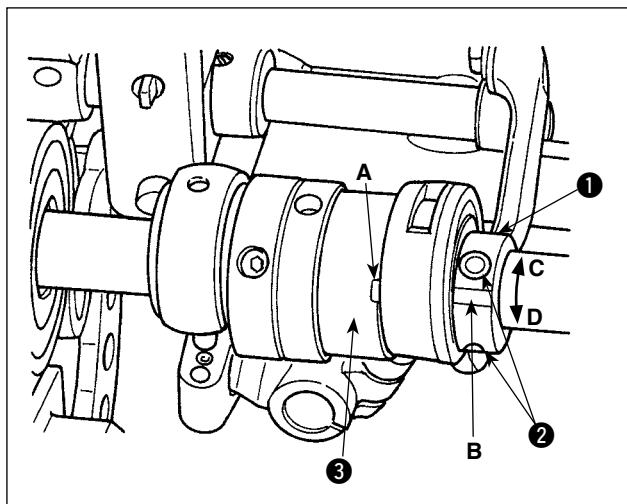
5. ローラーの送り量の調整



ローラーの送り量を調節するときは、ねじ①をゆるめてください。リンク②を上げると送り量は少なくなります。リンク②を下げると送り量は多くなります。

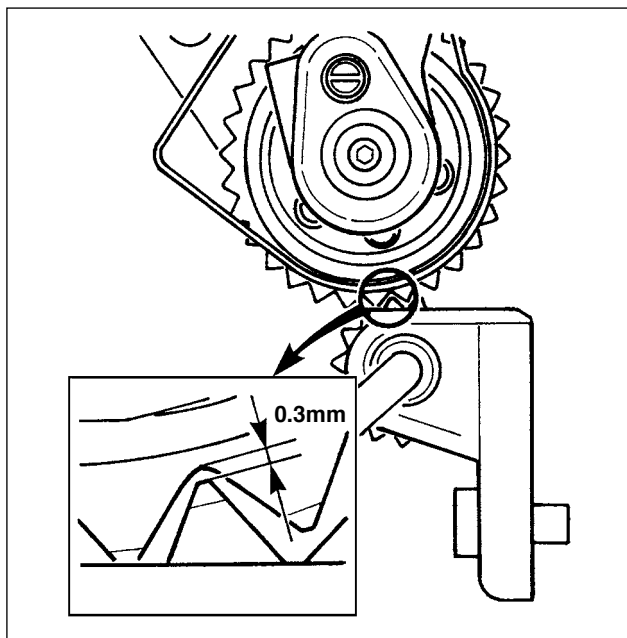
更に送り量を変えたい場合は、ねじ③を緩めて調整してください。ロッド④を上げると送り量は少なくなります。ロッド④を下げると送り量は多くなります。

6. ローラーの送りタイミング

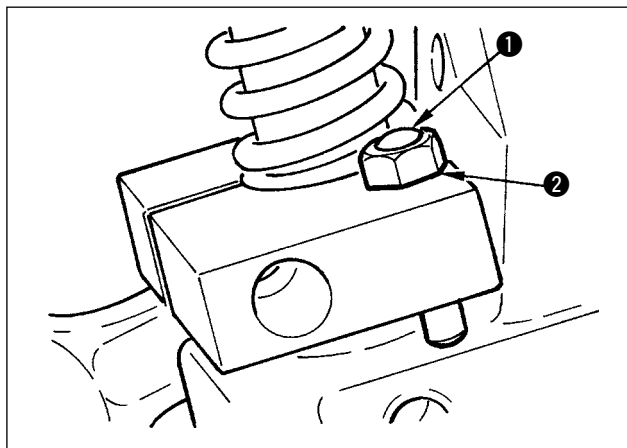


標準位置はカラー③の切り欠きAがプーラー偏心カム①の切り欠きBと一致します。送りタイミングを変更する場合は、プーラー偏心カム①の止めねじ②（2個）を緩めて調整します。C方向にカムを動かすとローラーの動き始めが早くなり、D方向に動かすとローラーの動き始めが遅くなります。

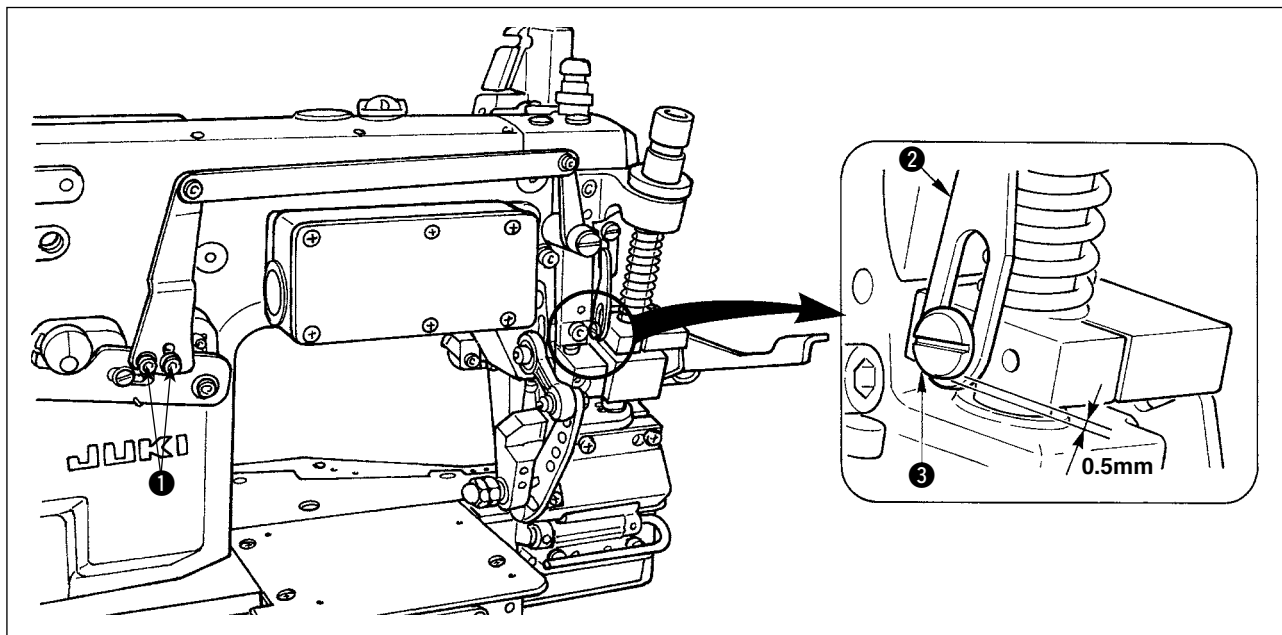
7. ギヤローラーのすき間の調整 (PL12)



ギヤ式ローラーの場合、ローラーが下りた状態で上下ローラーのすき間が約0.3mmとなるようにナット②をゆるめ、ねじ①の長さを調整してください。

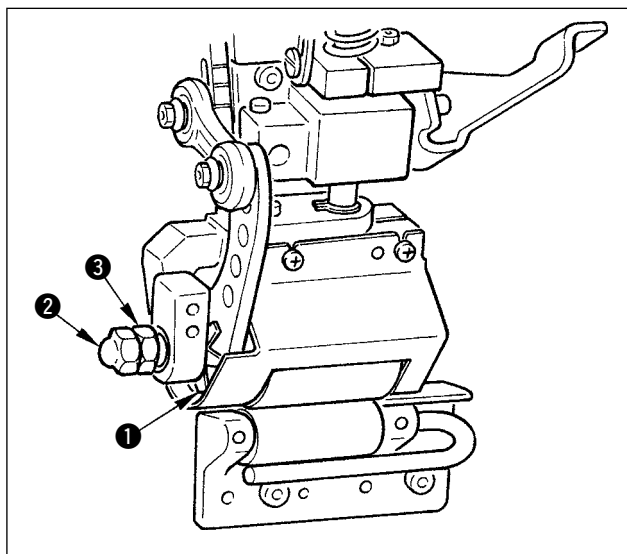


8. ローラー押え上げの調整



上ローラーが下がっている状態で押え上げを行なったとき、押え上げレバーリンク短 ② と段ねじ ③ のすき間が 0.5mm になるように、ねじ ① (2 個) にて調整してください。

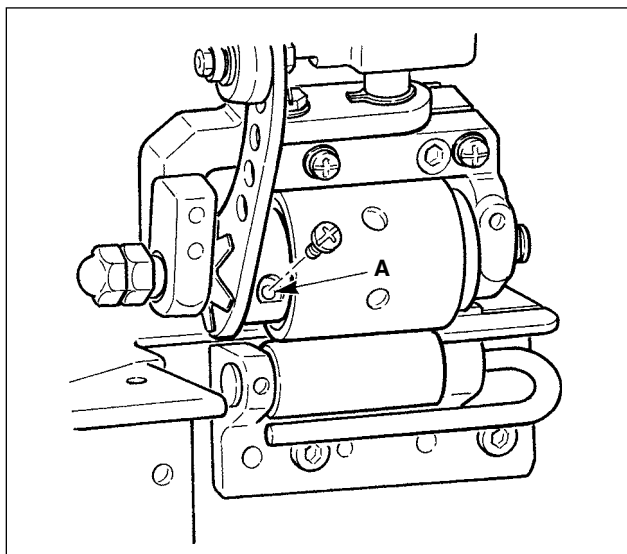
9. クラッチテンションばねの調整



高速回転で上ローラーがオーバーランしないように、クラッチテンションばね ① で調整されています。調整する時は袋ナット ② をゆるめ、ばね圧力を強くする時はナット ③ を右 (時計回り) に回してください。ばね圧力を弱くする時はナット ③ を左 (反時計回り) に回してください。調整後、袋ナット ② で締め付けてください。

(注) ばね圧力の目安は、袋ナット ② で締め付けた後、指に少し力を入れてクラッチテンションばね ① が回る程度です。

10. 給油方法



一年程度を目安に、定期的にグリース給油を行ってください。付属品の専用グリースを使用してください。

- グリースチューブ（品番：13525506）

上ローラーカバーを取り外し、A 部のねじを取り外してください。付属のグリースを A 部より十分注入してください。注入後、ねじと上ローラーカバーを取り付けてください。